



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月13日

上場会社名 東京テアトル株式会社
コード番号 9633 URL <https://www.theatres.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3355-1010
(氏名) 太田 和宏
(氏名) 松岡 毅

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	15,257	13.5	131	696.5	218	208.9	753	69.5
2025年3月期第3四半期	13,438	7.8	16	85.8	70	59.3	2,472	958.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,339百万円 (50.8%) 2025年3月期第3四半期 2,721百万円 (359.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	109.84	
2025年3月期第3四半期	346.44	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	29,958	16,709	55.7	2,450.29
2025年3月期	28,907	15,555	53.7	2,251.79

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 16,685百万円 2025年3月期 15,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		10.00	10.00
2026年3月期		0.00			
2026年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,200	1.0	50	81.3	50	81.6	600	80.3	84.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	8,013,000 株	2025年3月期	8,013,000 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,203,497 株	2025年3月期	1,117,295 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	6,858,336 株	2025年3月期3Q	7,136,055 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、[添付資料] 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

2026年3月期第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクや、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の連結業績では、中古マンション再生販売事業が好調に推移し、売上高は15,257百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益は131百万円（前年同期比696.5%増）、経常利益は218百万円（前年同期比208.9%増）となりました。一方、前年度に多額の特別利益を計上した反動減により、親会社株主に帰属する四半期純利益は753百万円（前年同期比69.5%減）となりました。

■連結経営成績（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
売上高	13,438	15,257	+1,818
営業利益	16	131	+114
経常利益	70	218	+147
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,472	753	△1,718

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

■セグメント別外部売上高（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	2,650	2,807	+157
飲食関連事業	4,332	4,592	+259
不動産関連事業	6,455	7,857	+1,401
計	13,438	15,257	+1,818

■セグメント別営業損益（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	△368	△486	△118
飲食関連事業	129	167	+38
不動産関連事業	895	1,082	+186
調整額	△640	△632	+8
計	16	131	+114

<映像関連事業>

(映画興行事業)

当第3四半期連結累計期間は『今日の空が一番好き、とまだ言えない僕は』『落下の王国 4Kデジタルリマスター』『ヴァージン・パンク Clockwork Girl』等が高稼働したことから、前年同期比で増収となりました。なお、映画館数及びスクリーン数は、2026年1月31日を以て「シネ・リーブル池袋」を閉館したことから、前年度末から1館2スクリーン減の6館16スクリーンとなりました。

(映画制作配給事業)

当第3四半期連結累計期間は、10作品を配給し、中でも映画『それいけ！アンパンマン チャポンのヒーロー！』『片思い世界』『おーい、応為』等がヒットし、前年同期比で増収となりました。

(ソリューション事業)

イベントプロモーションや、シネアドの継続的な受注により、前年同期並みの売上高となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は2,807百万円（前年同期比5.9%増）となりましたが、出資作品の償却費負担が大きかったことから、営業損失は486百万円（前年同期は営業損失368百万円）となりました。

<飲食関連事業>

（飲食事業）

当第3四半期連結累計期間は、「串鳥」のテイクアウト専門店を含む3店舗を出店したことから、前年同期比で増収となりました。

■飲食店・販売店の店舗数

	前期末	当第3四半期末	増減
焼鳥専門店チェーン「串鳥」	37	36	△1
その他	9	11	+2
飲食店 合計	46	47	+1
販売店 合計	5	7	+2

以上の結果、飲食関連事業の売上高4,592百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は167百万円（前年同期比29.5%増）となりました。

<不動産関連事業>

（不動産賃貸事業）

きめ細かいリーシング活動により賃貸物件が100%近い稼働率を維持し、前年同期並みの売上高となりました。

（中古マンション再生販売事業）

東日本不動産流通機構（東日本レイنز）によりますと、当第3四半期連結累計期間における首都圏の中古マンション市場は、成約件数、成約価格共に前年同期を上回り、引き続き好調に推移いたしました。当社グループにおいても、販売件数を大きく伸長し、前年同期比で大幅な増収となりました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は7,857百万円（前年同期比21.7%増）、営業利益は1,082百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産の部）

資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,050百万円増加し、29,958百万円となりました。これは、現金及び預金が327百万円減少したこと、販売用不動産が868百万円増加したこと、建物及び構築物が330百万円減少したこと、投資有価証券が855百万円増加したこと等によるものです。

（負債の部）

負債合計は、前連結会計年度末と比較して103百万円減少し、13,248百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が220百万円増加したこと、未払金が425百万円減少したこと、流動負債その他が323百万円増加したこと、繰延税金負債が406百万円増加したこと、有利子負債が623百万円減少したこと等によるものです。

（純資産の部）

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,154百万円増加し、16,709百万円となりました。これは、利益剰余金が684百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が589百万円増加したこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年11月12日に「2026年3月期第2四半期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,623,702	3,296,159
受取手形、売掛金及び契約資産	531,120	796,163
商品	217,804	388,895
販売用不動産	2,696,890	3,565,147
貯蔵品	39,818	49,037
その他	1,779,690	1,198,211
貸倒引当金	△9,150	△22,772
流動資産合計	8,879,876	9,270,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,525,660	3,194,968
機械装置及び運搬具（純額）	169	0
工具、器具及び備品（純額）	281,415	310,076
土地	12,168,815	12,324,366
リース資産（純額）	542	237
建設仮勘定	41,351	48,851
有形固定資産合計	16,017,955	15,878,499
無形固定資産		
ソフトウェア	43,423	43,124
その他	3,655	—
無形固定資産合計	47,079	43,124
投資その他の資産		
投資有価証券	3,378,265	4,233,861
差入保証金	394,997	362,842
繰延税金資産	81,674	69,100
その他	168,394	160,659
貸倒引当金	△60,405	△60,315
投資その他の資産合計	3,962,926	4,766,148
固定資産合計	20,027,961	20,687,772
資産合計	28,907,837	29,958,614

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	978,231	1,199,181
短期借入金	—	96,000
1年内返済予定の長期借入金	1,504,472	1,237,053
リース債務	442	262
未払金	787,360	361,866
未払法人税等	56,629	159,448
前受金	203,145	159,288
賞与引当金	217,376	108,744
その他	348,372	672,175
流動負債合計	4,096,031	3,994,021
固定負債		
長期借入金	4,676,376	4,224,692
リース債務	150	—
長期未払金	669	—
長期預り保証金	826,474	828,135
繰延税金負債	1,474,261	1,880,946
再評価に係る繰延税金負債	875,721	875,721
退職給付に係る負債	959,341	989,648
資産除去債務	443,381	455,685
固定負債合計	9,256,377	9,254,830
負債合計	13,352,408	13,248,852
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,736,741	3,735,937
利益剰余金	5,609,951	6,294,326
自己株式	△1,429,344	△1,544,401
株主資本合計	12,469,988	13,038,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,200,299	1,789,406
土地再評価差額金	1,857,368	1,857,368
その他の包括利益累計額合計	3,057,667	3,646,775
非支配株主持分	27,772	24,483
純資産合計	15,555,428	16,709,762
負債純資産合計	28,907,837	29,958,614

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	13,438,743	15,257,061
売上原価	9,929,440	11,585,519
売上総利益	3,509,302	3,671,542
販売費及び一般管理費		
役員報酬	190,478	202,278
広告宣伝費	38,298	27,471
人件費	1,851,017	1,857,642
賞与引当金繰入額	73,913	73,485
退職給付費用	64,775	43,133
賃借料	242,284	237,506
水道光熱費	139,332	138,450
貸倒引当金繰入額	867	13,622
その他	891,851	946,651
販売費及び一般管理費合計	3,492,817	3,540,242
営業利益	16,484	131,299
営業外収益		
受取利息	189	1,049
受取配当金	114,141	144,182
貸倒引当金戻入額	93	90
その他	13,035	12,846
営業外収益合計	127,459	158,168
営業外費用		
支払利息	43,170	68,103
借入関連費用	28,769	2,779
その他	1,368	387
営業外費用合計	73,308	71,269
経常利益	70,636	218,198
特別利益		
固定資産売却益	3,528,026	872,442
資産除去債務戻入益	22,946	—
特別利益合計	3,550,972	872,442
特別損失		
固定資産売却損	417	—
固定資産除却損	25,381	12,812
減損損失	49,914	—
事業所閉鎖損失	8,174	1,048
特別損失合計	83,888	13,860
税金等調整前四半期純利益	3,537,720	1,076,780
法人税、住民税及び事業税	345,922	175,947
法人税等調整額	723,149	150,789
法人税等合計	1,069,071	326,737
四半期純利益	2,468,649	750,043
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,535	△3,288
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,472,184	753,331

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益	2,468,649	750,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	252,871	589,107
その他の包括利益合計	252,871	589,107
四半期包括利益	2,721,520	1,339,150
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,725,056	1,342,439
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,535	△3,288

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	252,077千円	250,104千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	映像関連事業	飲食関連事業	不動産関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,650,035	4,332,723	6,455,983	13,438,743	—	13,438,743
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,515	4,812	907	7,234	△7,234	—
計	2,651,551	4,337,535	6,456,890	13,445,978	△7,234	13,438,743
セグメント利益又は 損失（△）	△368,144	129,652	895,919	657,427	△640,942	16,484

(注) 1 セグメント利益又は損失（△）の調整額△640,942千円には、セグメント間取引消去△722千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△640,220千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	映像関連事業	飲食関連事業	不動産関連事業	合計		
減損損失	49,914	—	—	49,914	—	49,914

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	映像関連事業	飲食関連事業	不動産関連事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,807,397	4,592,277	7,857,386	15,257,061	—	15,257,061
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,560	5,509	1,975	9,046	△9,046	—
計	2,808,957	4,597,787	7,859,362	15,266,107	△9,046	15,257,061
セグメント利益又は 損失（△）	△486,402	167,870	1,082,259	763,728	△632,428	131,299

（注）1 セグメント利益又は損失（△）の調整額△632,428千円には、セグメント間取引消去△1,360千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△631,067千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。